

岐阜新聞
2007年5月16日(朝刊)
※無断転載不可

岐阜大学(岐阜市柳戸)が全国の大学に参加を呼び掛けていた入試過去問題の相互活用制度に、全国の国公立・私立の六十六大学が参加することが決まった。優れた問題を著作権にとらわれずに出題できる環境整備が目的で、参加大学は来春に実施される入試から相互活用を始める。

入試問題は出題した大学に著作権があることが

入試の過去問題 66大学が 相互活用

ら、過去問題集の出版物などに二次利用する場合などは許可が必要。このため独自に作成した問題であっても、他大学の過去問題に類似したものがな

用制度への参加を呼び掛けた。「入試過去問題活用宣言」と題し、▽過去問題をそのままの形で使用することも一部改変して使用することも可能▽が過去問題を提供すると

十三、岐阜薬科大学など公立十、日本女子大学など私立三十三の計六十六大学が参加。これに加えて、三重大学など四大学が過去問題を提供すると

岐阜大が提案、来春スタート

いかのチェック作業に手間がかかっていた。

入試業務の効率化を図ろうと昨年十月、岐阜大学が全国の大学に相互活

入試終了後に原問題作成した。

岐阜大学入試課は「多くの理解を得られた。今後、静岡大学など国立二

入試終了後に原問題作成した。

岐阜大学入試課は「多くの理解を得られた。今後、静岡大学など国立二